

令和5年度 第2回 白脇小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年6月15日（木） 13時30分から15時15分まで
- 2 開催場所 白脇小学校 会議室
- 3 出席委員 柳川 樹一郎、田口 博、鶴屋 義照、外波山 裕泰、望月 真菜
- 4 欠席委員 清水 哲夫、鈴木 真智子
- 5 学 校 水村 辰也（校長）、大石 みや（教頭）、安川 剛史（教頭）、
河口 裕之（主幹教諭）植田 敬子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 7 白脇協働センター コミュニティ担当 石塚 訓岳
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 植田 敬子

10 議長の選出

司会の河口より、議長の選出について委員に意見を求めたところ、柳川委員から会長を推挙する旨の発言あり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 教育活動の実情から考えられる児童への支援策について
- (2) 防災面から考えられる児童への支援策について

12 会議記録

司会の河口から、委員総数7人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

議長の指示により、校長からまず、学校の運営に関する説明がある。

- ・ 150周年記念事業の報告
- ・ 白脇小学校ランドデザインの要点説明から、子供たちの自己肯定感、達成感向上のためにも、子供の学習に地域の人々、保護者、施設によるサポートの必要性説く。
続いて教頭より、地域とともにある学校づくりと題して、支援の目的・具体例について、スライドを交えた説明があった。

(1) 教育活動の実情から考えられる児童への支援策について

- ①学習のサポート（5月には保護者ボランティアを募り、アサガオの種まき、支柱立てを手伝ってもらい、例年よりも発芽率も向上し、子供の達成感もたかまった。）
- ②ゲストティーチャー（5月3年生社会科の授業に外波山先生をお迎えして、昔の暮らしを教えていただく。）
- ③地域学習・体験学習（田んぼアート、ふとい栽培など。今後は校外学習の引率ボランティアなど募りたい。）
- ④教育環境の整備（6月PTA主催で6年生親子奉仕活動を行い、どぶさらい、図工室の整備をしていただく。9月には5年生親子で開催予定。）

他にも、長期休業中の花壇の世話、コロナ前まで定期的に行っていた読み聞かせなども地域の方や保護者のサポートをお願いしていきたい。このような学校運営に必要な支援をするため、学校と地域をつなぐ学校支援コーディネーターが必要であると伝える。

(2) 防災面から考えられる児童への支援策について

子供たちの安全対策についての説明、昨今の大雨時の教職員による通学路の安全点検の方法の現状、白脇地区の冠水危険場所の共有。6月1週目の台風で小学校が避難場所になった時の状況説明。

委員からは、以下の発言があった。

- ・ 大雨の際、白脇小学校区北西方面の冠水被害の恐れの場合の説明。(柳川委員)
- ・ 避難場所は、①トイレの洋式化、②トイレの男女の区別、③水分摂取を控えることによる疾病の恐れ、④避難所が土足のままになることによる衛生面の不安などからなかなか避難所に行く人が増えない現状。(田口委員)
- ・ 大雨の際、校区のどこのあたりが危険な場所になるか、学校の方で把握しているか？(鶴屋委員) → 昨年度の台風で休校になった際、教職員で確認し、マップを作成済みと報告(安川教頭)
- ・ さくらメールに通学路の災害情報を保護者や地域の人々に入れてもらうことで、学校の方で周辺状況を把握しやすくすることはできないか？(外波山委員)
 - 保護者としても通学前に通学路の道路状況を知りたい。(望月委員)
 - 自治会を通じて地域住民のモニターを募集する打診。(田口委員)
 - さくらメールの活用など、すぐにできることから、少しずつで良いので進めていく方向性を確認。
- ・ ゲストティーチャーで、子供たちの反応がその場ですぐ感じられる楽しさを久しぶりに味わった。自宅前にいた際に、授業を受けた子供たちから声を掛けてきてくれた(外波山委員)
- ・ 読み聞かせに関して、地域の中に該当する人がいる。その方を中心に地域で読み聞かせのボランティアを募ってはどうか？(柳川委員)
- ・ 防災としてのライブカメラを危険箇所を設置するのはどうか？(田口委員、石塚オブザーバー)
 - ライブカメラ映像をどこで受けるかなど課題はあるが、検討の余地有り。

その他連絡事項等

司会から、次回会議は、令和5年11月16日(木)午後13時30分から会議室で開催する旨の報告があった。また次回の議長も田口委員が務めることを、全員異議無くこれを承認した。